

創立80周年記念事業【第2回募金委員会】

			認 印			
日 時	平成 30年 5月 24日(木)18:30~19:30	会場	同窓会館2階大ホール			
出席者	村先憲之、山崎秀雄、柿田外代次、沢田 貞、北川辰夫、舟木敏博、井上幸造、					
	太田秋正、林 國夫、中森茂範 / 中田嘉和、関戸賢一、辰巳一昇、岩田鋼紀					
作成者	沢田 貞	作成日				

■網掛けは本日の議題■

1. 募金委員会の役割	
※既に入金のあった同窓会員や企業への対応（礼状や訪問御礼）	
2. 趣意書の確認と入金状況	
① 同窓会員向け、② 企業(法人)向け、③ 旧教職員向け、④ 現教職員向け	
※5月23日現在 ￥4,153,000円（398口）	
※内企業からは ￥395,000円（11口）	
3. 創立80周年記念事業に向けた募金活動について	
① ゆうちよ振替口座の開設（打越郵便局）と払込取扱票（青表）の作成	
※払込取扱票（手数料は払込人負担）の発送（趣意書とセットで）	
※払込取扱票や送付先宛名シールはサラトで作成【2月28日に発送】	
② 同窓会名簿から地区別の集金エリアを決定【野々市市、金沢市、内灘町、津幡町は追加】	
※郵便番号毎に仕分け、町別に印刷する	
※町別の住宅地図（集金先の地番入り）を作成する	
※担当者を決めて地道に集金活動を行う（他地域・県外支部は別途）	
③ 企業(法人)の寄付金依頼に向けた準備 → 【別添資料…取扱い注意】	
※訪問企業リストと訪問分担（担当者を実行委員会から選定する）	
※企業訪問の時期等（既に学校側が趣意書持参で行動中）	
④ 学校持ち込みの募金	
※領収書を発行し、郵便局で振込み、カウントしている。	
4. その他	
5. 次回募金委員会の開催日	

平成30年 5月吉日

御中

石川県立小松工業高等学校
創立80周年記念事業実行委員会
実行委員長 村先 憲之
同窓会長 宮川 吉男
学校長 林 純一郎

石川県立小松工業高等学校

創立80周年記念事業への御協力お願い

小松工業高校の前身である小松工業学校は、昭和14年（1939年）の春、創立されました。

この時期、日本は日中戦争の長期化で国内経済が行き詰まり、情勢の打開を南方進出に賭け、対米英戦争に突入しようとしていました。

このような厳しい状況下で「工業は国を富ます^{もとい}基である」との強い信念を持って工業教育の必要を説いた竹内明太郎さん（小松製作所創業者）の遺志が建設費の拠出という形で活かされ、小松工業学校が誕生したのです。

こうした先人の卓見に対し、私たちは心から敬意を表し感謝に堪えません。

さて、こうして生まれた小松工業学校が第2次世界大戦など幾多の変遷を経て、来年、満80歳の傘寿を迎えることとなりました。

この80年間に卒業生は実に一万七千七百人余を数え、四分の三相当の一万三千人余が県内に居住しています。また、本校卒業生の大半が地元企業に就職しています。

小松工業高校は3年間、機械・電気や建設・材料化学など専門技術を学んだ生徒を、進んで受け入れて下さる地元企業の皆さま方と、見事な互惠関係を築いています。

また本校は文化・スポーツ面でも活発で、礼儀正しく質実剛健な生徒が多く、私たちは同窓の先輩として、中学生が小松工業高校へ入学を希望し、卒業後も誇りが持てる母校であることを願っています。

さらに就職した企業からも「感謝される」、そんな生徒が育つ母校にと、日々研鑽を重ねています。

そこで私たちは創立80周年記念事業として後輩に何を残せるかを考えました。

伝統ある小松工業高校の在校生は勿論、今後入学して来る生徒たちが、この学校に入って良かったと実感できるものとして、部活動振興事業を中心に教室内大型ディスプレイ設置・校外移動用車両をメインにしました。

そのほか同窓会館のリフォームや記念誌発行、記念講演や記念式典などを行います。

貴社に於かれましては、景気回復基調にあっても心苦しいお願いですが、有能な工業技術者を育てる学校づくりに、是非ともご理解を賜り、賛助金のご協力をお願い申し上げます。

以上

趣 意 書

－石川県立小松工業高等学校創立80周年記念事業－

拝啓

同窓会の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、我々の母校 石川県立小松工業高等学校は、地域産業界の要望を担い工業振興に貢献する崇高なる目標達成のため、昭和14年に創立されて以来幾星霜、第2次世界大戦を挟み戦後の学制改革等で、幾多の変遷を重ねて参りました。県立小松工業学校から県立総合制小松高等学校、県立小松実業高等学校、そして現在の石川県立小松工業高等学校と校名改称の歴史を刻み、平成31年で創立80周年を迎えることとなります。

同窓生も平成29年度末で17、756名を数え、各界各層で活躍する前途有為の人材を輩出していますことは、誠に喜びに堪えません。

平成29年度同窓会総会におきまして、創立80周年の記念事業の企画と実行委員長の選出を諮りましたところ、満場一致の賛意を頂くことができました。速やかに記念事業実行委員を選出し、事業計画案を同窓会役員、常任理事、クラス理事各位にご提示し、母校のより一層の発展と地域社会に役立つ人材育成のため総力を結集することとしました。

母校創立80周年を迎えるに当たり、下記記念事業の趣旨をご賢察の上、応分のご芳志を賜りますよう、ここに同窓生各位をお願い申し上げる次第です。

末筆ながら、諸氏の一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、石川県立小松工業高等学校創立80周年記念事業の趣意と致します。

敬具

記

一、記念事業

- ・ 記念式典 (学校体育館で平成31年10月19日(土)を予定)
 - ・ 記念講演 ※人間国宝 中野孝一さん(S41.3第1回電気科卒業)を予定しております。
 - ・ 記念祝賀会 (会場はホテルサンルート小松で平成31年10月19日(土)を予定)
 - ・ 記念特別事業 (教室内大型ディスプレイ設置・校外移動用車両・同窓会館リフォーム)
- ※日程等につきましては、同窓会ホームページでもお知らせしています。

二、募金目標額 金 3,800万円

三、募金額 一口 5,000円としますが幾口でも結構です。

四、納入方法 同封の振替用紙をご利用ください。(推奨)
(全国の郵便局・ゆうちょ銀行でご利用できます。)
口座記号番 00740-2-42278
加入者名 石川県立小松工業高校創立80周年記念事業
(学校でも平日16時まで随時受け付けます。また祝賀会開催当日も承ります。)

五、募金期間 平成31年3月末日までにお願ひ致します。

六、募金対象者 旧小松工業学校、旧小松農業学校
旧小松高校農業・機械・電気・紡織各科
旧小松実業高校工業各科・農業科
小松工業高校全卒業生

以上

石川県立小松工業高等学校創立80周年記念事業
実行委員 村先憲之
同窓会会 宮川吉男
学校長 林 純一郎

石川県立小松工業高等学校創立80周年記念事業工程表

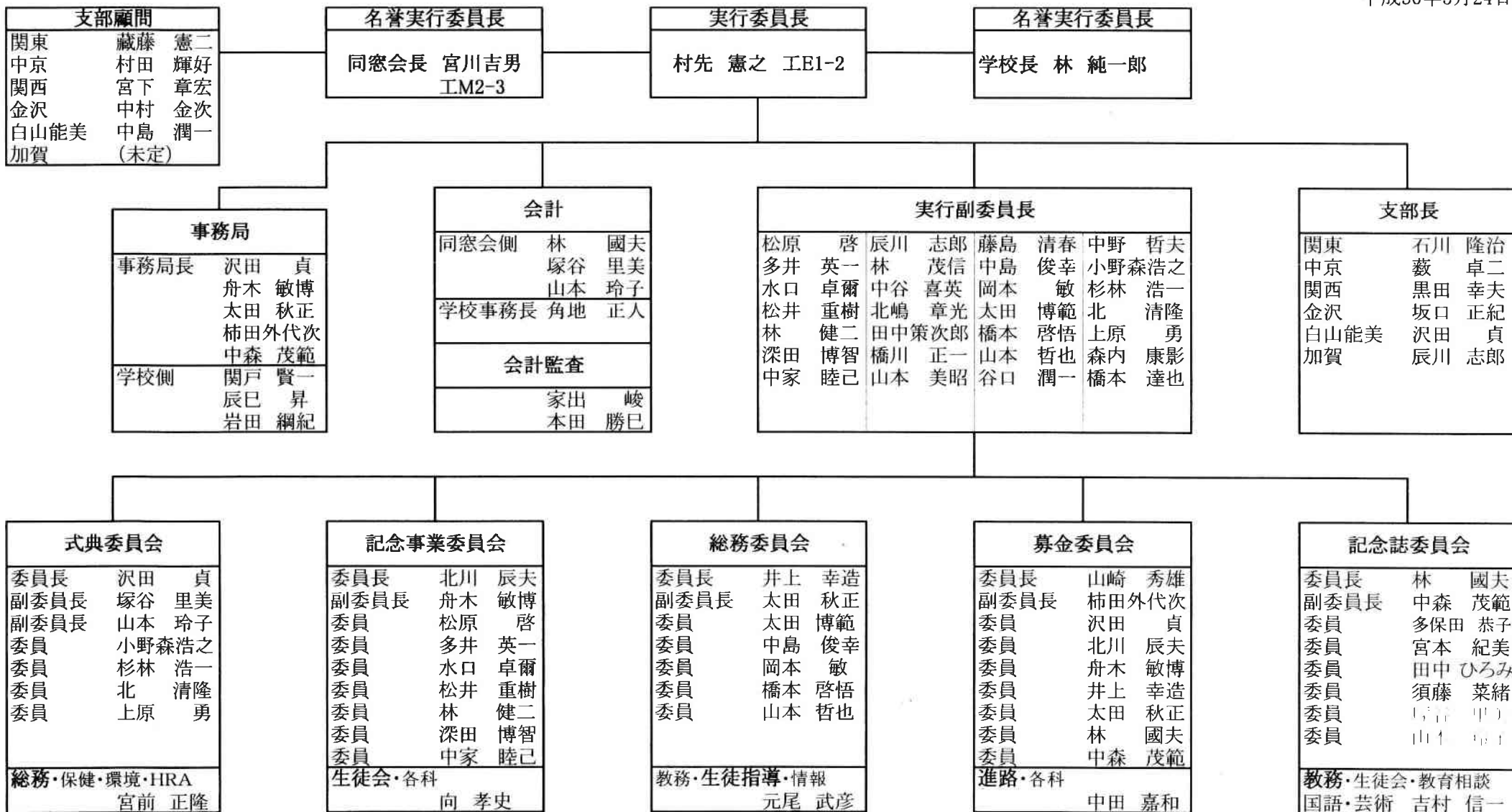
平成30年5月24日

	実行委員会 同窓会	事務局	式典 委員会	記念事業 委員会	総務 委員会	募金 委員会	記念誌 委員会
H29	8月 準備会 8.8 実行委員会 8.24	学校側委員要請=8.22 印鑑・ゴム印				訪問企業リスト	
	9月	領収書 通帳	記念講演者要請				
	10月 加賀支部設立	式典日にち検討				会員リスト	
	11月 関西支部総会						
	12月 幹部忘年会				趣意書作成		
H30	1月 実行委員会 1.29	第1回会議 1.18		記念事業決定	趣意書決定	第1回会議 1.24	
	2月 支部長会議 2.8	趣意書発送 2.28					
	3月						
	4月	第1回会議 4.16 式典日を決定	記念パーティ会場検討・決定 記念講演会場検討・決定			4.26学校打合せ 訪問企業分担	
	5月 役員会 5.14	第3回会議 5.24				第2回会議 5.24	
	6月 常任理事会6.23 白山能美/総会7.1			(記念事業発注) 第1回会議 6.13			
	7月 同窓会総会 7.21		記念式典内容検討			企業訪問	第1回会議
	8月 中京/総会8.5					企業訪問	
	9月						原稿依頼
	10月 関西/総会10.20						
	11月 関東/総会11.24				招待者リスト作成		
	12月				記念品選定		
H31	1月						
	2月		記念式典決定		招待者決定		
	3月				記念品決定		記念誌作成
	4月			記念事業発注	招待状発送		
	5月						
	6月 中京支部総会				式典パンフ作成		
	7月 白山能美支部総会						
	8月						
	9月			記念事業進呈	招待者出欠確認 会員・先生・生徒	募金最終	
	10月 ■元会 10.19		記念式典・調書 記念パーティ				記念誌発行
	11月 関西支部総会	反省会			礼状発送		
	12月						

MEMO

石川県立小松工業高等学校 創立80周年記念事業実行委員会組織

平成30年5月24日



[業務]
記念式典
記念講演

[業務]
記念事業

[業務]
招待状・礼状・出欠
趣意書・粗品・記念品
情宣・対県・式典パンフ?

[業務]
募金企画立案
訪問企業
募金活動

[業務]
原稿依頼
部数掌握
送付手配